

エールdeカフェ（ 山北地域）

山北地域にあるエール薬局で開催しています。薬剤師による健康講話や、隣接する病院のリハビリ専門職による介護予防体操などを行っています。参加者からは、「ここに来たら、すごく久しぶりに友だちに会えた」という声も聞かれました。地域の居場所として、少しずつ定着しています。



▲作業療法士による介護予防運動

今後の予定

	かたるんカフェ	リハ大オレンジカフェ	こころろカフェ	エールdeカフェ
と き	9月16日(水) 午後1時30分～3時30分	9月15日(火) 午後1時30分～3時	9月17日(木) 午後2時～3時30分	10月29日(木) 午前10時～正午
ところ	マナボーテ村上	新潟リハビリテーション大学	村上はまなす病院	エール薬局
参加費	100円	無料		100円
申し込み	要	不要		
対象	認知症の人やその家族、介護をしている人、家族の介護に備えておきたい人			
問い合わせ	介護高齢課地域包括支援センター（☎75-8937）			

※この他の地域でも開催を検討しています

令和8年度 村上市認知症普及啓発映画上映会を開催します

39歳で若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話に基づく物語、「オレンジ・ランプ」を上映します。

- と き 9月27日(日)午後2時～4時
- ところ 市民ふれあいセンター 大ホール
- 定 員 400人
- 入場料 無料 ※申し込みは不要です。直接会場にお越しください
- 問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター（☎75-8937）



『村上市オレンジプロジェクト』を実施しています

毎年9月の「認知症月間」、21日の「認知症の日」に合わせて、認知症への正しい理解を広めるため、普及啓発活動を行っています。市役所本庁や各支所で協力事業所の装飾や作品展示のほか、村上駅前歓迎塔のライトアップなど、認知症支援のイメージカラーであるオレンジ色を使って地域を彩ります。

このプロジェクトが、一人でも多くの皆さんが認知症に関心を持ち、正しく理解するためのきっかけとなるようにと願いを込めて、活動を行っています。



▲令和7年度の教育情報センターでの展示の様子

認知症カフェをご存じですか

～9月は「認知症月間」です。自分のために、大切な人のために、一緒に考えませんか～

問介護高齢課地域包括支援センター（☎75-8937）



認知症カフェを身近な存在に

「認知症のことを相談したいけれど、病院には行きにくい」、「認知症のことを詳しく知りたい」、「介護の悩みを聞いてもらいたい」——そんな想いを抱えている時は、認知症カフェに来てみませんか。

認知症カフェは、「認知症の人だけが行く場所」ではありません。認知症であるかないかはもちろんのこと、年齢や性別、職業などは関係なく、誰でも参加することができる居場所です。

市内には、少しずつ認知症カフェが増えてきました。コーヒーを飲みながらほっと一息ついて、認知症や介護サービスについて相談したり、レクリエーションや創作活動でリフレッシュしたりと、思い思いの時間を過ごすことができます。

初めての人も訪ねやすい雰囲気になるよう、工夫をしながら開催していますので、ぜひご自身やご家族に合った認知症カフェを探してみてください。

かたるんカフェ（ 村上地域）



▲オカリナの演奏で穏やかなひとときを

地域包括支援センターが主催するカフェです。カフェの運営は、「カフェサポーター」としてボランティアの皆さんに協力してもらっています。

同日に、「介護者のつどい」も開催しているため、認知症の人と家族が一緒に来て、それぞれの時間を過ごすことができます。

リハ大オレンジカフェ（ 村上地域）

新潟リハビリテーション大学で開催しているカフェです。高齢者だけでなく、地域で暮らす人々の活動の場として、楽しい時間になることを目指しています。「作業は人を元気にする！」をモットーに、地域の人と学生が一緒になって、創作活動やレクリエーション、介護予防体操などを行っています。



▲学生との交流の場にもなっています

こころろカフェ（ 村上地域）

村上はまなす病院で開催しているカフェです。病院に通院していない人でも参加することができます。

看護師やリハビリ専門の職員によるミニ講座やもの作りなど、病院ならではの催しが行われています。



◀手先を動かすことは認知症予防にもなります